

サイジヤナル

月刊
27-3・4
第420号

日本サイ科学会 平成 27 年 3 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒659-0011 芦屋市六龜荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

四月本部例会のお知らせ

「水からの伝言」と「新しい水の科学」

講師 根本 泰行氏

故・江本勝会長長の業績として、「波動」と「水」という2つの分野を挙げることが出来ます。そしていづれにおいても、「水は情報を記憶する」ということがもつとも基本的かつ重要な概念となっております。しかしながら、従来の科学においては、「水の情報記憶」について、なかなか認められず、結果として「波動」も「水」も「非科学的である」との批判を受けてきました。

ところが過去6〜7年の間に、世界のトップレベルの科学者たちから、「水は情報を記憶する」ということを完全に証明する—もしくは強く示唆する—証拠が提示されてきています。

「波動」の分野においては、モンタニエ博士により、「水は遺伝物質DNAの情報を記憶する」ということが、疑問の余地のない形で、

◎事務局からのお知らせ

今月は年度替わりですので、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、早めのお振り込みをよろしくお願い致します。恐縮ですが、御寄付をしていただける方は郵便振替用紙にその分を記入し、年会費に追加して、お振り込み願います。
※3月の本部例会はお休みとなります。

科学的に証明されてきています。

一方、「水」の分野においては、ポラック博士が発見した「第四の水の相」を考慮すると、「水の構造が想念や感情のエネルギーによって変化する可能性」が十分に考えられる状況になってきています。

講演においては、江本会長長の業績について簡単に説明した後に、モンタニエ博士とポラック博士の研究内容について、専門外の人にも分かりやすく紹介し、それらの関連について議論致します。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 全国大会発表者大募集
- ◎ 将来の事務局長を募集します
- ◎ 関西サイ科学会三月四月五月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部サイ科学会三月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会四月例会予告
- ◎ 第24回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第23回宇宙生命研究分科会報告
- ◎ 第2回スピリチュアル研究会報告
- ◎ 平成25年11月本部例会報告
- ◎ 第三九一回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三九二回関西サイ科学会報告
- ◎ サイ(気)の啓蒙を進めるオーブ
- ◎ 一〇〇〇年後の未来から

※丁度四年前の本部例会において根本先生から「水は情報を記憶する」について、一度解説いただきました。今回また進歩した科学研究を踏まえて、「水の記憶」についてお話しいただきますので、是非会員の皆様もご友人・知人をお誘いしてご参加ください。

◎ 根本泰行氏のプロフィール
1988年に東京大学より細胞

E-mail office: 21@psi.jmail-box.ne.jp

募集期間中に複数の応募がありました場合は、応募者各人の適性をみて、最終的に決めさせていただきます。

関西日本サイ科学会
三月例会のお知らせ

日本の目覚めは世界の夜明け

講師 長堀 優氏
ゆたか

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

超振動技術の応用と放射能無
害化技術

講師 大政 龍晋氏
(著書「地球を変える男」)

日時 平成27年4月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
B一〇二号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
五月研究集会のお知らせ

チャクラに響くコトタマパワー

― 体感セミナー ―

講師 宮崎 貞行氏

(著書「天皇の国師三上
照夫の真実」)

日時 平成27年5月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時～5時

会場 博愛癒院ホール
名古屋市昭和区

御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎
問合せ 052・871・9060

※九州日本サイ科学会三月研究
集会はお休みです。

九州日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

医師が語る目に見えない世界

講師 橋本 和哉氏

日時 平成27年4月12日(日)

午前11時～午後3時

会場 伊勢宮神社内楠照殿
長崎市伊勢町2・14

(095・823・2665)

交通 諏訪神社前徒歩5分

会費 二〇〇〇円

問合せ 095・883・6048

第24回宇宙生命研究分科会

第7回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成27年3月29日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」

行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー

学会・太陽の会会員)

一般一〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

☆ ☆

第23回宇宙生命研究分科会報告

「第2回 異能科学会議」は2

014年12月7日(日)に品川健

康センターにて開催。

講演者に一部変更があり、シユ

タイン愛子、ハリー山科両氏が参

戦。50名強の参加者のもと、第2

回異能科学賞は投票により空間エ

ネルギー研究所所長、岩崎士郎氏

に授与された。シンポジウム後の

懇親会もまた盛会！

内容はすべしYou Tube 動画で視

聴可能。(世話人 阿久津 淳)



第2回スピリチュアル研究 分科会のお知らせ

日時 平成27年4月26日(日)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

(東京都北区王子1-11-1)

会費 会員 五〇〇円

一般 一〇〇〇円

※参加ご希望の方は予約が必要で

す。できるだけメールで

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp

宛てに、メールを使わない方は、

FAX047・330・4091

に「スピリチュアル研究分科会

参加希望」と住所 氏名 電話

番号 会員、非会員の別」をお知

らせ願います。

「分科会の趣旨」

スピリチュアルとは、英語で本

来は精神的、霊的、霊性としての

意味合いがありますが、今日では

潜在意識・自己啓発・癒しなど

見えない存在」といった広く精神

世界に関する分野にも使われてい

ます。

人間はそもそも霊的な存在です。

私たちの魂は生と死を何度も繰り返

返して人生を旅しています。いま

ま再びこの世に生まれ来て、私た

ちはこの現世で何をなすために生

まれて来たのでしょうか。

人生にはすべて無駄がないとい

いますが、辛い苦しいことに遭う

のも、私たちに人生で大切なこと

を目覚めさせるための、人生の試

練なのかもしれません。

いま生かされていることに素直、

感謝、寛容と博愛なる精神を持つ

て「目に見えない霊的な世界」を学

び合い、自己をみつめて、互いに

魂の向上に励もうではありません

んか。

分科会では、講演や体験学習、

ワークショップ、最新情報、不思

議体験談や意見交換等々の開催予

定です。会員以外の方でも大歓迎

です。お気軽に参加下さい。

プログラム

・13:00～ 開場

・13:25～14:05 霊能力者・渡

辺薫龍氏「除霊・浄霊について」

特に除霊、浄霊には優れた能力

を持ち、霊能相談では定評があ

る。現代のさまざまな悩みの解

決や霊の問題について話す。

・14:05～14:45 交渉中

・14:45～15:30 獣医師・石川

允明氏「最新機器による健康状

態とサポート」デモ。

参加者の健康状態と改善の様子

を機器「SWII」により、スク

リーンに試写してプレゼンテー

ションする。

・15:30～15:45 休憩

・15:45～17:40 フリートーク

(世話人 小林信正)

☆ ☆

第1回スピリチュアル研究 分科会報告

平成26年11月16日、都内王子の

「北とびあ」にて、講師4名による

研究会を開催しました。会議室の

定員が24名なのですぐ満席となっ

た次第です。
講師、テーマ、講演概要

○徳永康夫氏(日本サイ科学会理事)「人間の正体は、霊、なのです」
肉体を主に考える人は、死は恐怖で全ての終わりとなし、靈魂を主に考える人は、死は終わりではなく、新しい始まりと考える。靈魂が本質の生命体であり、日本では、昔から幽体(幽界)、霊体(霊界)、分け御霊、親御霊という多層体として表現されています。私達は現世で靈格を磨き、死んだら靈界から分け御霊さらに親御霊(創造神、宇宙神)に近づきたいものです。

○坂田豊月氏(スピリチュアル・セラピスト)「オーブの世界」
病気で2度も生死をさ迷い、以降、魂(オーブ)を写真に写す力が授かりました。日本、ハワイ、エジプト、インド、中国等で撮影したオーブ写真を投映して撮影状況を説明された。オーブ写真を撮るコツは、多少の飲酒をするか、瞑想などで変性意識状態にして心の中で祈願してシャッターを切る、意識体としてのオーブが現れ写真によく写るとのことです。

○橋本和哉氏(医学博士、はしもと内科外科クリニック院長)「医師が語る靈障と治療」
靈障には、肉体的、精神的病氣や人間関係の不和、異常行動などがあります。靈障の診断として、橋本式憑依スクリーニング法、氣当て診断法がある。靈障の治療法は、靈障スプレー、オイル、ホログラフィーシート、漢方薬などがあり、家の靈障治療法は、スプレー、鏡、魔除け等や先祖供養、靈界にいる成仏靈を上げる法などの興味深い説明がありました。

○沖田祐美氏(福祉相談員、古代史研究家)「神々の謎」
10年前から不思議な世界への導きがあり、全国の神社、磐座、聖地の配置(星座や二等辺三角形による謎の配置)の探究を行う。バリ島、インド、ヒマラヤ等の聖地を旅し、縄文の存在、シューマン波ネットワーク、聖書によるエフライム族と日本神話との妙な一致とか、竹内文書と「位山」の人工的石組み等、古代神々の謎解きの好奇心あふれる話がありました。

次回、平成27年4月26日(日)を予定。皆様の参加をお待ちしています。

います。(世話人 小林信正)

平成25年11月本例会報告

生体センサによるサイ研究
—超能力研究の最前線—

講師 小久保 秀之氏
(国際総合研究機構 生体計測研究所 研究部長)

※前半はこれまでの日本と世界における超心理学、サイ科学に関する研究の歴史と現在の様々な研究についての解説をされました。



私どもは生体センサとして、白いぼキュウリを使っております。

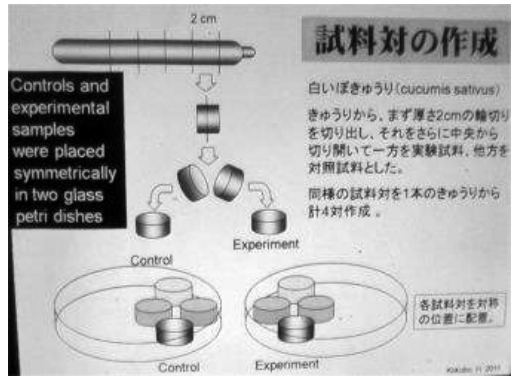
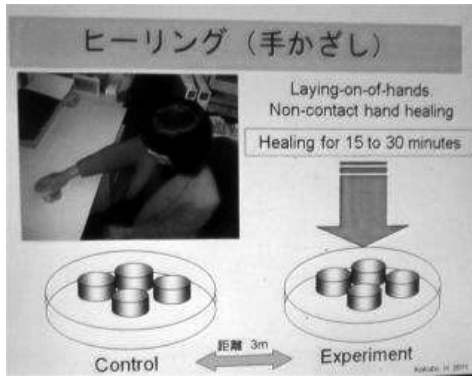
生体センサ 白いぼキュウリ

Cucumis sativus 'white spine' type

白いぼキュウリセンサを使ったヒーリング(bio-PK)パワーの測定法を3種類開発した。

1. バイオフォトン測定法 (2006)
2. ガス測定法 (2009)
3. 蛍光測定法 (2012)

基本的にキュウリの輪切りを使って、ペトリ皿に入れ蓋をかぶせて、ここに手かざしヒーリングを行っていたたく実験です。このキュウリの反応を測ります。反応を測る方法は現在までに3種類開発しておりまして、2006年にはこの切断面から出てくるバイオフォトン測定法、2009年にはキュウリのおいさを測るガス測定法、さらに昨年は切断面に紫外線をあてると蛍光を発するので蛍光測定法も開発しました。現在、中心的に使っているのはガス測定法です。



サンプルをどうやって作るかというと、一本のキュウリを長さ2センチの輪切りを切り出し、さらにその真ん中で切断して、観音開きに開きます。両面が対称な面ができるので、その面を上にしてそれぞれ2つのペトリ皿に入れてます。その観音開きは全部で4組作り、一方のペトリ皿のキュウリにヒーリングをし、他の一方には何もしません(コントロール)。4組のキュウリはそれぞれ2つのペトリ皿に対称の位置におきます。ヒーリング用の皿とコントロールとの距離は最低3メートルで、現在は12メートル離している場合があります。

ヒーリング時間は基本的に15〜30分にしてありますが、ヒーラーには「キュウリがよく光るようにヒーリングしてください。」とお願いしております。ヒーリングの後、暗箱に2つの皿をセットし、同時に切断面のバイオフィオンを測定します。

18時間という長い時間をかけて測定しますと、ヒーリングをしたものはこのように明るく光っております。これがどれくらい明るくなっているかということ、画像

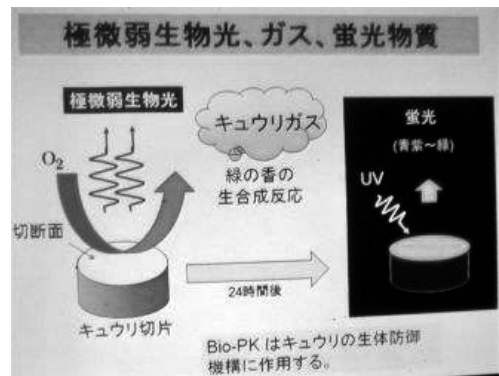
J 値

$$J = k \ln(E/C)$$

E 実験試料のガス濃度または蛍光強度
C 対照試料のガス濃度または蛍光強度
k: 係数。当分の間 $k=1$

左辺 bio-PKパワーの大きさ	右辺 物理量の比の自然対数
---------------------	------------------

較正J値(データ解析用)

$$J_{主実験} - J_{較正実験} = \text{較正J値}$$


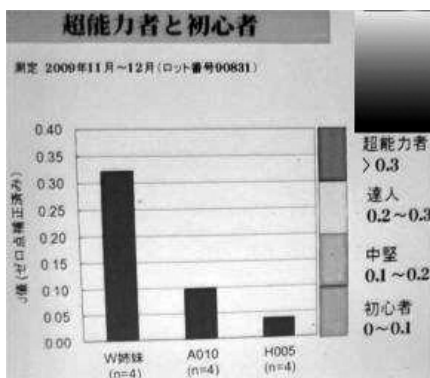
処理して、光の強さを数えてやることができます。そうすることによって、そのヒーラーのヒーリングパワーがどのくらいなのかというのを、数値化して出すことができます。

ガス測定法というのは、キュウリのおいさを測定します。キュウリにおいては実は、切断面においてその場で酸素と反応して合成されています。

この測定をし終わった後、この切断面に紫外線を当てますと、切断面が蛍光を発するので、その蛍光を測っても、ヒーリングの効果測定でき、これを蛍光測定法と呼びます。

測定した値からJ値というものを算出して、これでヒーリングパワーの大きさの指標としています。J値は上記左図の式で表され、コントロール試料のガス濃度または蛍光強度またはバイオフィオンの蛍光強度と、実験試料のガス濃度または蛍光強度またはバイオフィオンの蛍光強度の物理量の比を真数として自然対数を取り、比例定数kは1をかけています。

実は超能力のパワーの大きさの指標としてこの式が非常にいいと



J値の導入

$$J = \ln(I_E / I_C)$$

ヒーリング効果の大きさを表す正規化規格量として導入した実験式。

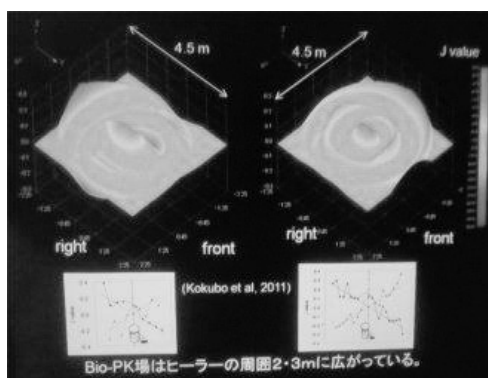
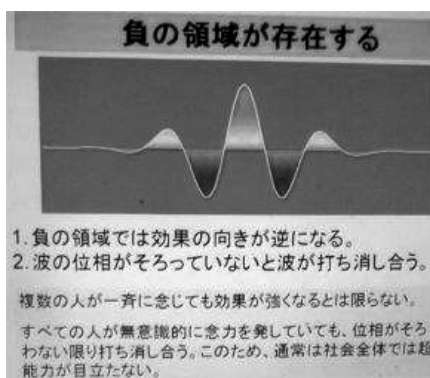
1. 正規分布に従う。
2. 対照実験(40℃熱処理、遮光処理など)ではJ値はゼロだが、ヒーリングではJ=0.14(ヒーラー12名の平均値)。
3. ヒーラーの体調が良いと、J値も大きい。
4. 初心者ヒーラーより中堅・ベテランヒーラーの方がJ値が大きい。
5. 熟達した方法で実施するとJ値が大きい。

ということが、我々の研究で分かっています。この式は左辺が「バイオPK」つまり超能力の大きさを表し、右辺は物理量であるので、

超能力を物理量で記述できた、ということになります。よく超能力は現代物理学と関連性が全然ないといわれますが、この式を使えば現代物理学との橋渡しができるということになります。ゼロ点補正も簡単でして、ヒーリング実験のJ値から何ももしない較正実験のJ値を引き算してやれば、較正J値が求まります。これからお話しするのは、主に較正J値を使ったものですが、ときどき較正実験ができないときは、主実験の生のデータをそのまま使っております。

J値の導入は上記右図のようにヒーリング効果の大きさを正規化した規格量なので、t検定などに簡単に使えます。またJ値を使うことによって、いろいろな実験データを比較することが出来ます。通常ESPと物理量の関係式は見つかっておりませんが、PKに関しては見つかったと言っていると思います。

J値を0.1単位でヒーリングパワーをランキングにしています。0.0~0.1の範囲は初心者、0.1~0.2の範囲を中堅と呼び、0.2~0.3の範囲を達人、0.3以上を超能力者といっています。



町の中でヒーリング教室を開いて講師をやっている方は、初心者級がほとんどです。こういっただん人たちの中で二、三十人に一人位は

0.1~0.3ある人もいます。0.3を超えるのは超能力者しかいなくて、こちらの実験でも0.3を超えたのは、日本でも有名な中国人の王姉妹くらいです。

キュウリでヒーリングパワーが測れるのだったら、ヒーラーの周囲にキュウリを沢山並べたら、パワーがどう広がっているか測れるのではないかと面白がって実験してみました。すなわちヒーリング測定と周りのポテンシャル分布を測る実験をやりました。

ヒーラーの前後、左右にキュウリを置いて測定しました。全体としてどうなっているかを知りたいので、間のところは原点から等距離のところを、同心円状に線形補間して推定しました。見栄えを良くするために+になっているところを上方向に赤く、-になっているところは0付近です(上記右図)。

前後、左右がそれぞれ2.25メートルで測っております。だいたい半径2メートルくらいが超能力の場として広がっていることが分かります。もつと先はどうなっているのか興味があるのですが、部屋が狭いのでそれ以上測れていません。

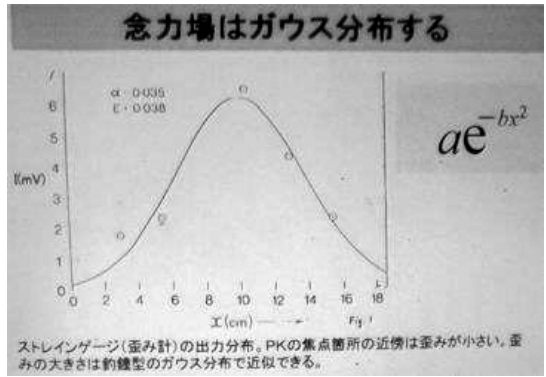
人体近傍に層構造が存在

波型ポテンシャルは、人体近傍に層構造が形成されていることを意味する。

神秘主義者やスピリチュアリストが主張してきた「層構造」が、実験で確認できたことになる。

各層は全く別の種類のものではなく、作用の向きと大きさが異なるだけで本質的には同一種。

エーテル体
アストラル体
メンタル体
コーザル体



この実験はキュウリのにおいが強くなるようにということではヒーリングをしていますが、赤いところは効果があつたのですが、青いところは逆ににおいが弱くなつてしまつたとおこです。そこではヒーリングが逆効果になつてしまつたことになります(前頁上記左図)。

我々のよく知つている力というのは、万有引力でもクーロン力でも、距離の二乗に反比例して弱くなります。それに対して、超能力場は距離の二乗に反比例するのではなく、上記右図のようなガウス分布(正規分布)、すなわち距離の二乗の指数関数に比例するというのが、どうも本質のようです。

先ほどのヒーリング場の波形分布をよくよく考えたら、層構造と同じだな、と気がつきました。

＋の方を温かい、－のところは冷たいと感じると、身体の周囲に層があると感じます。ですから結局層構造というのは、波形分布の別の表現なのです(上記左図)。

よくこれを神智学の方では、内側からエーテル体、アストラル体、メンタル体、コーザル体と言つていのですが、神智学の方はアストラル体はアストラル界につながつてい、というように思想に行

ヒーラーのタイプと分布型

手かざしヒーラー

近距離での施術に慣れている。

集中パターン

気功ヒーラー

2-3 m離れた場所からの施術になれている。

放射パターン

測定距離や方向、多重効果

- 集団の場合、多数の人間の「場」の重なりとなる。
- 複数の人間の「場」の重なり精密測定は、まだ行われていない。
- 場の大きさ、人同士の距離、時間的安定性、異方性の問題は未知。

人数が増えると効果も比例して大きくなるか？

つてしまいます。でも分布だけ見ると、これは要するに＋の方向が違つているのと、波の大きさが違つているだけなのです。

こういうことを証明しようと思つて実験したわけではないのですが、結果としては層構造があるところに関して確認されてしまつたということ、ちよつと戸惑つています。実は層構造があるということとは、波形分布があるということと物理的には同じことなのです。ただ、層構造はどうしても思想として、各層の違う世界につながつてい、というように解釈されがちなのですが、そうではなくて＋と－の大きさが違うだけなのです。

皆が超能力を持つてい、のならば、なぜ世の中で超能力現象が目立たないのか？これも説明できるようにになります。例えばここにいてすべての人々が無意識に念力を発していたとします。それぞれ座つてい、場所が違ひますので、そのうすると波長が少しずつずれてい、ますので、この部屋全体では皆の波同士がキャンセルして、この部屋全体の超能力は目立たなくなり、ます。皆が一斉にスプーン曲げなど揃つて集中して、波が同調する

概念 “Bio-PK”

本研究によって、異なるヒーリング方法の存在が示された。メカニズムや性質の違いが生じる理由には、次のような可能性が考えられる。

- (1)作用する場所や生化学系が異なる。
- (2)電磁波と音波のように、物理メカニズムが異なる。
- (3)ロックとクラシックのように、ヒーリングの性質が異なる。

今のところ、どの可能性が妥当か決定できない。しかし、少なくとも、「全てのバイオPKのメカニズムは同じだ」と言うことはできない。

とスプーンが曲がったりします。先ほどの一般のヒーラーの方のデータについて、もう少し詳しく説明します。5人分のデータを見ますと、手元のキュウリにパワーが集中したタイプの方と、手元のところにはあまりパワーが集中しなくて、遠くの方に放射されるような形のパターンを示した方の、実は2通りあることが分かっています(前頁上記左図)。

結論から言いますと、手元でパワーが強かったのは手かざし系か、イメージ形成系のヒーラーで、手元のパワーが小さかったのは気功師の方々でした。ただ気功師は少

しに離れたところでパワーが出ています。これは普段やっているヒーリングの方法の違いによると思います。

バイオPKについて、異なるヒーリング方法が確かに存在するということが示されました。異なるヒーリングというけれど、何が違うんだというところが非常に重要で、それは分かっています。違いが生じる理由は、ヒーリングが作用する場所や生化学系が違う。あるいは可能性は低いかもしれませんが、物理メカニズムが違う。あるいは種類の違いによってヒーリングの性質が異なる。「私は気を出し分けられる」と言うヒーラーがいますが、無碍に否定できないなと思いました。

第三九一回関西日本サイ 科学会研究集会報告

セドナメソッドで感情を解放
すると人生が変わる

講師 安藤 理氏

とき 平成26年9月20日
ところ 大阪科学技術センター

安藤氏プロフィール

1963年生まれ。1985年
大阪大学人間科学部卒。

20代より様々な自己啓発法および瞑想法などを学んだ後、2003年にセドナメソッドを知り、2004年からこの手法の習得を促進する個人セッションや体験セミナー等を実施している。米国セドナ・トレーニング協会認定のセドナメソッド・コーチ。



はじめに

九月二十日に講演の機会を与えてくださった関西日本サイ科学会の皆様、当日ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。以下の文

章は、当日にお話しした内容をまとめたものです。参加された方には復習資料として、参加されなかった方にはセドナメソッドの概要を知る参考資料として、お役に立てば幸いです。なお、この文章の転載・複製・引用はお控えいただきますようお願い致します。当文章の著作権は、米国セドナ・トレーニング協会(STA)とSTA認定セドナメソッド・コーチ安藤理に帰属します。

セドナメソッド(The Sedona Method?)の成り立ちと現状

セドナメソッドは故レスター・レベンソン氏が、自らの体験を通して発見した方法を、簡単に習得できるシステムにして一九七四年に始められました。現在は、レベンソン氏の後継者ヘイル・ドウオスキン氏が一九九六年に米国アリゾナ州セドナに設立したセドナ・トレーニング協会(STA)が発行する書籍・教材と、セミナーを通して世界各地に普及しています。

一九五二年、四十二歳だったレベンソン氏は、数々の病を患い、医者から見放されました。強い向上心を持ち、仕事にエネルギーを

注いだにもかかわらず、幸せになれず健康を損ねてしまったのは、心の中にある制限であることに、このとき彼は気づいたのである。その制限のすべてを解放することに集中して取り組んだ結果、完全に自由な境地に至り、健康も回復しました。それから、自分の経験したことを人に伝えていくうちに、現在のセドナメソッドの原型となる感情解放の手法が生み出されました(注…セドナメソッドは医学的な主張をするものではなく、いかなる疾病の治療、診断、助言、完治を意図したものではありません)。

この手法を一九七六年に学んだドウオスキンは、長年かけて実践と指導経験を続けた後、一九九四年に逝去したレベンソン氏の後を継ぎ、手法をさらに進化させ、セドナメソッドとして完成させたのです。その内容は、音声教材や書籍としてまとめられ、世界中で学ばれるようになりました。

セドナメソッド書籍

現在日本語で学べる唯一の教材が翻訳書『人生を変える一番シンプルな方法―セドナメソッド』(主

婦の友社/安藤理監修・乾真由美訳)です(他の音声教材等の日本語版は許可されていないため今のところ予定はありません)。初版は二〇〇八年に出版され、翻訳を改訂した新版が二〇一四年二月に発行されました。

著者ドウオスキンは、二〇〇七年に全世界で話題となった『ザ・シークレット』(角川書店)の中で教師のひとりとして紹介されている世界的な指導者です。この分野の他の指導者たちからも高い評価を受けており、セドナメソッド公式サイト(www.sedona.com)にはこの手法を体験した著名人たちの推薦文が掲載されています。二〇〇三年に出版された原書は、ニューヨーク・タイムズ紙ベストセラ―の一冊になりました。

書籍の序文に掲載されたジャック・キャンフィールド氏(ザ・シークレット教師の1人)の推薦文には次のように書かれています。「私は多くの自己啓発の手法に接してきましたが、このセドナメソッドは使いやすさ、効果の深さ、結果が出る速さにおいて、他より抜きん出ています。」

セドナメソッドの特長

『ザ・シークレット』等、多くの書物などで強調されている「思考が現実を引き寄せる」という法則を知り、思考をよいものに変えようと心がける人々が増えていますが、努力しても思考を変えるのは難しいと感じる人も多いのが実情です。セドナメソッドは、このジレンマを解決し、望む変化の実現を促進します。否定的な思考に伴う感情を解放することができれば、思考は望ましいものにおおざと変化します。その転換を自分で簡単に起こせるのです。

安藤理とセドナメソッドとの関わり

原書の発売当時に私はセドナメソッドのことを知り、学習を始めました。それまでの約二十年間、この分野の様々な手法を学び体験してきたのですが、この方法のシンプルさと効果の高さは卓越していると感じました。私の人生も、セドナメソッドの実践を続けてきた数年間で着実に進展しました。本と教材で習得した後、アメリカでドウオスキン氏による上級コースを受け、二〇〇四年にセド

ナメソッドの習得を支援する個人セッション実施を始めました。その後、STA主催のセドナメソッド・コーチ養成コースを修了し、二〇一〇年から認定コーチとしてセミナーやグループセッションも開催するようになりました。日本語で学ばれた方々の多くも、この手法の効果を実感し確認されました。実践者の体験記は私のウェブサイトに掲載しています。

感情を扱う第三の方法「解放」

人がふだん行っている感情の扱いは「抑圧」か「表出」の2つです。表に出すと不適切と思われる感情は抑えることで処理しようとし、しかし抑えられた感情は心の中に留まるため、その後に悪影響を及ぼし続けます。感情が適切に表出された場合は解放を伴い、改善へと向かうことはありますが、不適切に表出された場合は事態を悪化させてしまいます。セドナメソッドによる解放は、感情の表出を伴わずにできるため、多くの時・場所・状況で実行可能です。解放が習慣になると、抑圧される感情は減り、適切に表出・表現できるときが多くなります。

解放 II 解き放つ (release) ・手放す (let go)

セドナメソッドによる感情の解放は、手に握っている物を放す動作にたとえられます。ある感情が続いているとき、その感情を心の中で握りしめているような状態です。握る力を抜くと、物が自然に落ちていくように、感情は心から離れます。ただ力を緩めることを選ぶだけでそうなります。実際には、感情は固体ではなく気体のような流動性があるエネルギーですから、解放された感情は拡散し、流れや自由度がある状態、不快から快へと変化します。

認め (allow) ・ 迎え入れ (welcome)

セドナメソッドにおける「手放す」という言葉は「取り除く」「追い出す」「捨て去る」のようなニュアンスではありません。どんな感情であってもまず認め(容認する・許す・許可する)、迎え入れ、その感情が浮かび上がってきたり広がってくるのを、そのまま味わってみることが解放の始まりです。迎え入れた感情が広がるままに任せれば、感情は自然に解き放たれて

いくのです。感情をじっくりと認めるだけで十分な解放が起こることもあります。

感情解放の基本手順

基本手順は、感情を認めて手放すように導く一連の質問です。気になる事柄を思い浮かべてから、そのことについて、今、感じている気持ちに注意を向けます。そして、次の質問に「はい」か「いいえ」で答えます。どちらを答えても解放は起こります。

「その気持ちを認めることはできますか」「その気持ちを手放せますか」「手放しますか」「いつ」。最後の質問には「今」と答えることがお勧めですが、他の答えでも解放は起こります。

この手順を、最初に注目した気持ちに気にならない程度に軽くなるまで繰り返します。ひとりで行う場合は心の中で自問自答します。すぐに大きな変化が感じられなくても、じっくり手順を繰り返しながら、微かな変化に注目していくと、やがて違いが自覚できるようになります。手順を行う際には、頭ではなく、できるだけハート(胸の中心)で行ってください。

深く考えることなく、できるだけ直観で答えるのです。

初めて試すときや、手順に慣れるまでは、さほど重大ではない事柄についての感情を扱うことがお勧めです。ちょっとした気かりなどの小さな不快感であれば、手順を数回繰り返すことで解放を実感できる可能性が高いです。それで実感できたら徐々に、より難しい問題や、大きく深い感情についても取り組んでいきましょう。

最初のうちは、数分間落ち着いてできる時間と場所で手順を行うことを習慣化してください。慣れてきたら、日中にも、不快な感情を持ち続けているのを自覚したときに、その場で解放することも習慣にいきましょう。

感情を解放すると考えや行動は自然に改善され、考え方や行動を変えようとする努力は必要ありません。ネガティブな感情の原因を探る必要はありません。感じていく気持ちに注意を向けて自問自答する、という習慣を続ければ確実に解放は進行していきます。その結果、考え方や行動パターンも望ましい方向に、自然に変化していきます。この点が、プラス思考・

ポジティブシンキング・アフアメーション等の手法とは異なるセドナメソッドの特徴です。

感情解放による心の変化を、コンピュータの動作にたとえて説明することができます。動き続けている古いプログラムやファイルを保持している感情の負荷を解放すると、使えるメモリーが増え、処理能力が加速するのです。

実践の継続を促進する心構え

セドナメソッドの実践に際して「しなければならないこと」「してはならないこと」はありません。自分自身を大切に育てる気持ちでいること、厳しい監督となるのではなく、自らの親友かつ支援者となりましょう。自分の可能性を探求するゲームとして、遊び心を持って取り組みましょう。セドナメソッドを習得するために、この文章や本に書かれていることを信じる必要はありません。必要なのは、書かれている内容にオープンでいること、自分で実際に試して体験を通して確認していくことです。一方で、ある感情を正当化したり、それがどんなに有益かを自分に言い聞かせたり、そう感じ続ける自

分は正しいと証明したりしようとしていたら、感情がうそをついているシグナルだ、ということに気づくことも解放を促進します。

願望実現や目標達成と「とらわれのない意識」

否定的な感情を解放していくと、肯定的な気持ちでいるときが多くなり、「引き寄せの法則」が自然に働いて、望みが叶うことは増えます。また、目標達成に必要な行動に対する抵抗感も減るため、着実に実行を継続して達成することも増えます。成果がもつと得られるようになるのです。その上で、結果に執着しない、とらわれのない、自由な境地へと進みます。とらわれのない状態に至るほどに、失う恐怖や失望が消え、今この瞬間を自由に楽しめるようになります。望みや欲は否定しても無くなりません。解放を続ければ、本当に必要なことは自然に実現でき、そうでないことは気にしなくなっていくのです。欲求の解放と目標達成を促進する手順については、書籍6章と7章で詳しく述べられています。

組織における感情解放の効果

ニューヨークの保険会社で営業担当者たちがセドナメソッドを使って実験を行ったところ、習ったグループは、習わなかったグループより平均して三割も成績が上回りました。さらに、習う期間が伸びるほどにその効果が増したのです。研究は一期を三カ月として二期行われました。最初の三カ月では営業成績が二三%伸び、二期目ではそれが四三%にまで伸びたのです。組織のメンバーが、制限的な感情を解放できるようになると、組織は高い能率と生産性のレベルに楽に到達します。同時にメンバー一人一人の安心感と満足感が増すのです。組織やグループの全員が感情解放を実践しなくても、リーダーが実践するならば、その影響はグループ全体に及びます。

世界を支援する

解放するたびに、自分の意識の中にある制限と同時に、世界全体が持つ制限を解放していることになるのです。講演時に見ていたセドナメソッド映画DVDでは、次のメッセージが語られています。

「人類は長年、意味と幸福と満足を探し求めてきました。星を見上げ、過去を掘り返し、科学に目を向け、他者や娯楽に求めました。でもまだ多くの人は探求を終えられず、幸福への鍵を掴めていません。誰もが何かしら制約を感じています。ストレス、自己不信、不安

憂鬱、依存症、金銭や健康の心配や、身体や人間関係、過去への不満の根底にある孤立感から、現状では不十分だと感じます。十分だと感じるために、お金や力、刺激や薬、食べ物求めます。世界を消費しなければと思ひ込みます。自分は不十分だと思ひ気持ちは人生だけでなく、地球をも蝕みます。でも、もし制限を手放し、『今』を生きられるとしたらどうでしょう？ 人生を簡単に速く変える効果的な方法があるなら？ 自分を変えるのではなく、幸福への道を阻むものを手放すのです。

世界は今、転機を迎えています。今までの行いを続ければ、誰もが満足できない状況が続きます。でも、続ける必要はありません。世界中の人が本当の自分に目覚め始めました。この映画をきっかけに、愛、安らぎ、喜びのある人生と、

よりよい世界をもとに実現しましょう。」(当DVD日本語字幕版はありません。)

日本語でセドナメソッドを学ぶ機会

まず翻訳書『人生を変える一番シンプルな方法―セドナメソッド』(主婦の友社)をお読み下さい。感情解放の具体的な手順が段階的に学べるよう書かれています。書籍による独学では実感するのは難しいと感じる方は、安藤理が実施する個人セッション(電話および対面)やセミナーをご活用ください。補足説明を聞いた上で、解放手順の誘導を受けながら試すと、ひとりで行うよりも変化を実感しやすい人が多いです。質疑応答を通して疑問を解消することもできます。

安藤理のウェブサイト <http://andouinfo> に、セッションとセミナーの予定と案内、英語教材(書籍、CD、DVD)の紹介と発行サイトへのリンク、受講者体験記を掲載しています。これらが皆様のセドナメソッド習得のお力添えになれば幸いです。(安藤理氏)

☆

☆

感じている気持ちに注意を向け、自問自答する、という簡単な手法を続ければ確実に解放は進行し、その結果、考え方や行動パターンも望ましい方向に、自然に変化していくという。参加者一同実習を行い、さらに経験者の話を聞かせて頂いて、セドナメソッドのよさを認識した。

当日の参加者は会員11名、非会員18名、合計29名でした。

講演記録テープは20000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三九二回関西日本サイ科学会研究集会報告

潜在意識と習慣

講師 水口 清一氏

水口氏は1941年大阪で生まれる。大学時代探検部に所属し全国のお山々を探索する。人間の無限

の可能性を引き出す数々のプログラムの開発。熊野で言霊と禪の行を修め、東洋の神秘に触れる。テレビ、新聞、週刊誌、ラジオなどマスコミで数々紹介される。専門分野・潜在能力の開発、催眠法、イメージコントロール、超意識、言霊、数霊、場のマネジメント、創造性開発、瞑想、東洋思想、コミュニケーション、未来予知、夢の実現法。



私たちの人生の95%は習慣で成り立っています。大きく分けて3つの習慣を誰でも身につけています。それは「思考」「感情」「行動」の習慣です。

その習慣は潜在意識の働きです。目に見えないものを言葉で話すのは難しいものです。今日は少し体験を交えてみたいと思います。「潜在意識とは何か」「習慣とは何か」という概念が人それぞれ違います。

*潜在意識と習慣は同じものですか？

*習慣はいつからどのようにして身についたのですか？

*潜在意識は自分ですか、それとも誰かと共有しているのですか？

*自分が望んでもいない悪い習慣がどうして身につくのですか？

*悪い習慣を良い習慣に変えるにはどうすれば良いのですか？

*「引き寄せの法則」は「潜在意識」の働きのことですか？

*シンクロニシティと潜在意識の関係が分かりませんか？

*失敗者と成功者は潜在意識の使い方の問題ですか？

*脳と潜在意識の働きは同じですか？

こんな疑問が湧いてきませんか。「潜在意識はどこにあるのですか?」「という質問を時々受けます。潜在意識を言葉で説明するのは難しいですね。

潜在意識の何たるかを知らなくても、潜在意識はちゃんと働いています。肝臓や腎臓の機能に関する知識がなくても、日夜、無意識に働いているのと同じです。

「潜在意識」の知識より「使い方」の方が大切です。そこで「使い方」を伝えようとすると知識が必要になってきます。

まあ、なんと説明したらいいかと悩みますが、「そんなに深く知らなくても良い」ということです。知れば知るほど奥が深く最後は宇宙の法則(物理学)まで勉強しなくてはならなくなります。肝臓や腎臓の働きを知っているだけで充分です。

医師ならともかく一般人は医学的な知識がなくても毎日生活できます。

潜在意識や習慣も体験を通じて学べばいいことです。

泳ぎの本を100冊読んでも泳げません。

海や川で泳ぎの練習をするしかありません。

潜在意識を理解するのは、やはり体験に勝るものはないという結論です。

◆潜在意識は自動制御装置

潜在意識は何でも自動的にやってくれる便利な心の装置です。

ただインプットされたプログラム通りに動くので、意識で制御できません。しかも無意識だからなかなか自分でも気づかないのです。それでは一体何がどのように自動化されているのでしょうか。

それは、行動、感情、思考の自動化です。

あなたの人生の大半は、この自動装置によって動いているのです。私たちはそれを「習慣」と呼んでいます。

「習慣」とは潜在意識に組み込まれたプログラムのことです。

自動化はある意味で便利ですが、ある意味では困りものです。なぜなら悪い習慣をプログラムしてしまつたら意識でいくら頑張つても上手く行きません。

自分の意識に関係なく車が自動的に暴走しているようなものです。

これは大変ですね！

止まれといくら叫んでも車は止まってくれません。あなたがどんなに成功を望んでも、自動的に失敗に向かってしまうのです。

誰がそんな危ない自動制御装置

を作ってしまったのか。他でも無い、あなた自身が長い年月を掛けて自分の手で作り上げたのです。

反対に良い習慣をプログラムした人は、勝手に自動的に成功に向かうようになっていくのです。

◆超能力は誰にでも備わっている

もうひとつ潜在意識は自動制御装置の他に驚くべき力を持っています。潜在意識を開発するとは、この驚くべき能力が発揮される状態にすることです。

それは「超意識」と呼ばれるもので、人生に奇跡すらもたらすことの出来る能力です。

「超意識」とは通常の能力を超えた信じられない4つの能力です。

- 1 念力
- 2 透視
- 3 予知
- 4 テレパシー

この4つの能力です。

以前、IBMが世界一級といわれる人々の能力資質を調査したことがありました。

何と、この4つの超能力を全員が有していたという結果ができました。

この超能力は誰にでも備わって

いるということです。ただその能力を開発したかどうかで結果が違ってくるのです。

もちろん、あなたもこの驚くべき能力を有しています。ただ少し訓練が必要です。

先日NHKで「超常現象」の一番が2回にわたり放映されています。

人生成功の秘密は無意識で動いている95%の習慣を変えることです。そのためには「潜在意識」にアクセスして自分の習慣というプログラムを変えてやることです。

☆ ☆

潜在意識と超意識を改めて感じ

た。

当日の参加者は会員11名、非会員12名、合計23名でした。

講演記録テープは2000円（送料込み）。事務局（0797・222・6425）まで。

◆ ◆

（関西日本サイ科学会会長 河野 明夫）

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル（約3時間）を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 三五〇〇円（送料含む）

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館（アカシックレコード）から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

◎2013年6月本部例会

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

◎2013年9月本部例会

「千鳥学説を知るために」

性質はない(デコヒーレンス、量子状態の破壊)。他方、検討したところ、不思議なことに、巨視物体(物質)に生起させたサイ(気)の実験結果にはこの性質(素粒子の性質)が現れている。

最近になると、科学の進歩の結果として、デジタル・カメラが発明されて、オーブ(たまゆら)が登場してきた。条件さえ選べば、誰にでも撮れる。しかも安価に、手軽に撮れる。精神の世界の大衆化が開始されたのであろう。オーブは巨視図形でありながら、素粒子の性格を色濃く所有している。さらに意識に反応し、生命の成長を助ける(サイの性質、別報参照)性質を持っている。つまり、これは、サイ(気)そのものである、と言える。こんな不思議な性質を持つ物質(たまゆら)は、今までに、見た事も、聞いたこともない。これは、換言すると、サイ(気)現象の定義(評価)の新認識である、と言えるかも知れない。

他方、我々が居住する物質の世界では、素粒子を制御して、実用化を果たしたものに半導体がある。半導体は電気通信情報産業界の米と言われる程に重要な物質(製品)である。一方、サイ(気)は、素粒子でありながら、物質の半導体とは異なり、意識と生命を持った存在である。サイ(気)の制御と性質は、現在のところ、詳しくは判らない。多くの困難は推定出来るが、条件設定を実施し、環境条件を整備することによってサイ(気)を制御して(半導体と同様に)、再現性と因果律を確定化して、実用化を進めて、人々の生活に役立てたいと念願している。また、これは、心(意識、無意識)の科学的な究明であるとも言える。

開発の手始めは、既に、開始されているといえる。問題は、いかにして再現性と因果律を高めるかにあると言えよう。オーブは手軽に、しかも大量に得られるので、きわめて有望である。

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー
ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究
―超能力研究の最前線―

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ
―アーユルヴェーダから見る生命
のすばらしさ―

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学
新病気学」

◎2014年7月本部例会

講師 小林信正氏

「ラップ現象の究明―オーブとの
関連性について―」

◎2014年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「死後の世界と輪廻転生について
の一考察」

◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ

「サイと天変地異」

◎2014年11月本部例会

講師 坂井洋一氏

「日本人は知らない！縄文日本の
驚くべき真実」

◎2015年1月本部例会

講師 トレイシー・アッシュ氏
THE SOURCE CODES

「ソースコードは何ですか？」

◎2015年2月本部例会

講師 安部賢司氏

「物質化現象無から有は生じる」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

Email office21@psjmail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便
振替用紙で8日以内にお振り込み
いただければ、結構です。

空間の制限を超越する事が出来るので、念は能力者の肉体を離れて活動することが出来る。さらに、(7) 念の諸性質を研究することにより、霊の本体が次第に明らかになるであろう、と述べている(サイジャーナル、PSIJ、2008年4月号参照)。上の(1)は、サイ(気)現象に意識が関係している。(2)・(3)は素粒子の性質が顕われたと考えれば、不思議では無く、至極当然のことである。(4)は変性意識状態(ASC)が関与している。(5)・(6)・(7)は、仲介する物質として素粒子状のサイ・エネルギー(情報)がある、と判断する事により、都合良く説明ができる。

3. 「オーブ」の実験・検討結果

一例として、オーブ(たまゆら)の実測・検討結果をみる(「オーブ」は「パワースポット」にいる、岩波ブックセンタ刊参照)。オーブの特徴は、誰にでも撮れる(大衆化、多量化)にある。(1) 写真撮影の記憶媒体がフィルムから半導体(CCD)に移行するに伴って、乳白色小円形状のオーブがノイズとして撮影画面上に写り込んできた。その位置や種類、大きさ等はランダムであり、また非局所的に広く、拡散して写る(素粒子類似の性質)。(2) 空気成分が電離した湿度が高い状態の薄暗い空間に向けて、近赤外線領域の撮影が可能なデジタル・カメラを用いてフラッシュ撮影すると、写り易い。(3) 空気中の近赤外線量(気の活性化エネルギー、約1.3eVと同じ)が閾値に達した時に写りやすい。(4) 写されたオーブ(たまゆら)は、核を持ち、小円形状で、輪郭は鮮明であり、円の周辺には放射線状のヘイロー(Halo)を伴っている。また内部には非対称の干渉縞状模様やマンダラ状模様を伴っている。(5) 小雨の降り始めに写り易い。つまり水との親和性が高い。これは大気陰、陽イオン・ボール(プラズマ・ボール)の形成に関係する為である。(6) オーブには親オーブと子オーブとがあり、子オーブは大気陽イオンと大気陰イオンの組み合わせから形成されており巴型の回転を伴う、核(エアゾール等)を内蔵している。これに

「変性意識要素」が加算されたものを「たまゆら」と呼んでいる。(7)「変性意識要素」としては素粒子群(PSI-pair群:陰、陽電子、オーラ)を仮定している。さらに、(8) 社寺、仏閣等の聖地やパワースポット等。お祭りの行事など。人々の関心が関与した特定の場所や行事の際に、写り易い。(9) 何時も写るとは限らない。一般には、再現性に乏しい(意識の状態に関係する為)。(10) 雑念を取り去り、無心で、熱心に撮影すると、写り易い。つまり変性意識状態(ASC)に近づく事が必要である。この反面、意識的努力はむしろ、出現抑制に働く傾向がある。(11) 呼吸法などを用いて、意識の自由度を極力狭めると(物体化する)写り易い。(12) 意識に反応し、応答する等の情報交換が可能である(マクロPK)。(13) 瞑想法などの訓練を経て、脳波(EEG)をデルター波などの低周波数域にまで下げる事が出来る人の場合に写り易くなる傾向がある(自由度を下げて物体化する)。(14) 撮影者のASC(変性意識状態)と「たまゆら」は同調している、と判断できる。

上の(1)から、オーブが素粒子の性質を持つ事がわかる。(2)・(3)は撮影条件、(4)~(6)はオーブの性質、(7)は「たまゆら」の性質、(9)~(12)はオーブの性質、(13)・(14)は写り易さ、を示している。

4. 検討並びに考察

我々は縦、横、高さ(空間)に時間を加えた4次元の時空間で生活しており、視覚や聴覚などの五感で認識できる巨視的な物質(物体)世界のみが認知の対象としている。物質(物体)の基礎には分子や原子、素粒子等から構成される微視的な世界がある。素粒子は非局所的であり、空間に広く拡散して、形態が決まらない(未形成)、不安定な、分割要素の重ね合わせの状態で存在している。あいまいな状態で、不確定性、相補性、観測問題、絡み合い、遠隔作用、等の性質を持っている。これらは、居住空間に住む人間からは想像することも出来ない様な不思議な世界である。しかし巨視的な物体には、これらの

サイ(気)の啓蒙を進めるオーブ(たまゆら)

佐々木 茂美

1. はしがき

自然科学は19世紀の錬金術師の希望や方法、妄想の技法を元にし、超心理学はシャーマンの幻想や奇跡、魔術の基盤の上に形成されてきたという。時間が経過して21世紀となり、自然科学は現代の科学万能の世界を構築する事ができた。一方、超心理学の進歩は誠に遅々たるものがある。この原因は何かというと、現象がまれにしか起こらず、超心理学が扱う現象の中に人の心(意識)が入り込んでいるので、因果律や再現性が損なわれること、ならびに、生起する現象があまりにも奇抜すぎて、常識的に理解され難い事にあるのだろう。

筆者らは、長年月にわたって、サイ(気)科学の実験研究を実施してきた。いまの段階で言える事として、(1)巨視的なサイ(気)現象の結果には、素粒子の性質が現れており、これが奇抜さの原因である、と考えられる。(2)最近になり、サイ(気)現象として、素粒子の性質を持つオーブ(巨視的図形)が多量に出現してきた。奇妙な事に、意識に反応し、誰にでも撮れる(大衆化)と言う。(3)意識ならびサイ(気)を物体(物質)化して、素粒子の性質が現れ難くする、などの条件設定を行う事により、再現性や因果律が現れやすくなってくと判断している。

2. サイ(気)の検討結果

2-1) 従来からの批判

総合誌(imago.3.1990、マーチン・エボン、pp.80-98)によると、超心理学の功績は、19世紀には靈魂の働きであると考えられていたサイを、靈魂側から人間側にとりもどすことが出来たことにあるという。しかしサイはあまりにも不安定で微弱なので、ラインは、サイには「ヒョウタンでナマズを捕える」的な性質がある、と表現したという。つまり、あまりにも超常的で、時間・空間

の枠組みを超えている、という。同書のなかで大谷宗司は、——サイは、意識によって指向されて一時的には検出されるが、その効果は微弱で、僅かしか変化しない。総ての存在と微弱的な接触をしており、我々は、それを多量に取り出す方法を持っていない——と述べている。筆者らは主張したい。奇抜さの原因は、サイ(気)現象の結果に素粒子の性質が現れた為に起きた現象・評価であり、条件設定をすれば、ある程度の再現性と因果律が保証され、また、ある程度は集積出来る(半導体と同様に)、と考えている(後述)。

2-2) サイ(気)の存在実験

一例として、福来友吉(1930年代)の念写の場合をみる。念写とは、「念じた画像を、意念によってフィルム上に写し出す」というもので、マクロPK(念力)の一種であり、能力者を対象に実施された。これは常識では考え難い出来事であったので、発見当初から話題にのぼり、様々の批評や真偽論争が続いた。福来の実験・研究資料は、約200枚の念写真乾板として(財)福来心理学研究所に保管されて、白川勇記(東北大)らによって「念写実験の吟味」(1961年)として公表されている。

結果として、(1)念写は、「念ずる」ことによって起きる。つまり能力者の心理条件が因子になっているので、いつも成功するとは限らない。(2)念写像は、ネガ像として現れる事もあり、またポジ像として現れる事もある。(3)能力者から遠くに離して置いた場合でも、念写は可能である。(4)実在の物体や図形と類似しているが、僅かに異なった形の像が念写される場合がある。福来は、(5)念写の際の念(意識)は、乾板を感光する作用をもち、形や像を形成するという要求を持ったエネルギーである。(6)念の作用は、

スが減らした可能性も考えられております。

「なぜホモ・サピエンスは殺し合うのか?」、「ホモ・サピエンスはこの先もずっと殺し合うのか?」の質問に対して、私は「ノー」と言いたいのです。21世紀の人類はまだ未熟で、自分自身が何であるか、何のために地球上で知能を発達させて進化しているのか分かっていないのです。21世紀の人類は、物質の原理はある程度分かってきたのに、生命と精神・魂・霊の原理はほとんど分かっていないという、大変アンバランスで不幸な過渡期にあります。比喻で言えば、知能の未熟な幼児が、銃を手に入れて、自分のエゴのため撃ち合いをしているようなものです。

残念ながら、人類はあと数百年は科学技術を進歩させながらも、争い、戦争、殺し合いを続け、テロリストによる小型核の使用もありえます。ただ、これから生命と脳、心、精神そして魂・霊の研究も少しずつ進んで行くでしょう。石器時代から戦いの歴史であるホモ・サピエンスの中でも、時に非常に希ですが、宇宙の構造、生命・精神・魂・霊の原理を高度のESP能力で体感する先覚者が現れます。約2500年前の仏陀、2000年前のイエス・キリスト、日本では1200年前の空海、近代では20世紀前半のパラマハンサ・ヨガナンダ等がいますし、もちろん悟りや体感まではいきませんが、知識として、直感として、それらの原理をある程度理解している宗教的修行者、信仰者、そしてサイ科学に関わる人々が、現代でも少数派ですがおります。

なぜ人類は戦い、殺し合うのか? その理由は簡単です。自分のエゴと無知から来るプライドを満足させるためです。そのためには他人はどうなってもいい、と思っている人々が多いからです。1番公德心の強い人間になるべき政治家や官僚、電力等の独占企業が自ら役得を作り、エゴで動いているケースがかなりあるのは、国民にとっても不幸でしょう。100人の村にひとりでも不幸で恵まれない人間がいるとき、その1人が怨みをもっておれば、他の99人は本当に安全で幸福な生活は送れないはずなのに、です。もち

ろんホモ・サピエンスは、困っている他人を助けようとする、また皆と協力して何かを為すという、社会性、善性ももっております。日本の古代から江戸時代までの、武力で国を支配しようという社会から、選挙によって、政権を選択できる社会になったことは社会システムの進歩といえます。

1000年前の平安時代の人間が、現代の日本社会、科学技術文明を想像もできなかったように、現代の我々が1000年後の人類の未来を予測することは、科学技術が指数関数的に進歩することからも、より難しいことです。しかし、敢えて予測するならば、少なくとも1000年後には、やはり宇宙の構造、生命・精神・魂・霊の原理の研究が進み、大半の宗教があまり説明も無く説いている「殺すな、奪うな、人を愛せよ、人のために働け!」の行動原理がなぜ大切なのか、の科学的理由が解明されているはずです。宗教は現代においてまだ“教え”の段階ですが、その説く内容は1000年後には誰もが納得する“常識”になっているでしょう。自分のためだけのエゴは自分と社会に不幸をもたらし、皆が人のため、社会のために行動することが、理想的な社会を形成することをすべての人々が知っているでしょう。すべて人の上に立つ人々も、より徳性が高い人々になっており、社会システムを大きく進歩させます。

人類の進化は、その行動できる範囲から純粋に診断できますが、現代は一般人が航空機で世界中を動けるようになりましたが、1000年後は近くても天の川銀河内、より進化が早ければ他の銀河まで、一般人が旅行できるようになっているでしょう。そのときは地球より進化の遅い他の惑星の住人からは、UFOが来たと思われるでしょう。そして1000年後の未来から、現代の人類を眺めたら、科学技術だけはいびつに発達させて、自分たちの生命の本質が分かっていない、非常に幼くて危うい時代だったな、と思うに違いありません。1000年後において、人類の進化レベルは比喻として「大学院生」までいっていると思います。

以上

から始まる二千数百年間の「水瓶座の時代」＝「アクエリアスの時代」に興味と関心を持ちました。

元々自分の「ESP能力」の対象として未来がどうなるのだろうか、という関心を常に持っていましたので、これから2000年にわたる地球と人類の未来について、当時手に入る資料も使いながら、自分の直感による予想を本にしたのが「来たるべきアクエリアスの時代」(1985 潮文社)です。この私にとっての最初の著作は、爆発的に売れたわけではないのですが、ロングテールの売れ方を続け、実は昨年まで30年近く、アマゾン等で新刊本が手に入りました。インターネットを見ると、現在でも中古本がプレミアムがついて売られていて、うれしくなります。自分でもこんなに寿命があるとは思いませんでしたが、息が長かったのは、そこに紹介した近未来についての予測が、かなりの的を射ており、また人類の遠い未来までを警告も入れながら楽観的に描いたからだと思います。

例えば「二酸化炭素増加による温室効果の脅威」、「化石燃料等による環境破壊」、「大脳生理学、遺伝子工学の発展」、「コンピュータ、エレクトロニクス社会の発展によるインターネットの予測」⇒「(文章) エレクトロニクスは、いわば世界という大きな『身体』の『脊髄』と『神経』を形成し、21世紀は地球全体が1つの村のような身近な世界になるだろう。」、「自動車の自動航行装置」、「21世紀は感情も表現でき個性もを持ったヒューマノイド(人間型ロボット)が家族や社員にもなり、また危険な現場でも活躍する」、そして1番言いたかったことは「人間のもつESP能力やPK能力、超常現象の研究が進み、『水瓶座の時代』には、意識と物質とエネルギーの間をつなぐ統一理論が打ち立てられるであろう。さらに、次元の違う世界との関連も明らかにされるであろう。」という事です。

前置きが長くなって申し訳ありませんが、「1000年後の未来から」のテーマは、この最後の

主張につながることになります。「1000年後の未来」を語るためには、過去の考察もしなければなりません。地球は誕生したのが46億年前で、12億年前の多細胞生物の登場から途方もない時間が経って、猿人が現れたのが700万年前、そして我々ホモ・サピエンスが現れたのはつい最近の20万年前なのです。6550万年前に小惑星の地球衝突で恐竜が滅びた(有力説)のですが、それまでの約2億年間は地球上は恐竜の天下だったわけで、それを考えると、ホモ・サピエンスの生息期間は圧倒的に短いのです。約5000年前に文字が使われるようになってから、知識の蓄積が始まり、文明の進歩が始まりました。幾何学の父、ユークリッドが活躍したのが約2300年前、物理学の父、アイザック・ニュートンが活躍したのが約300年前なのです。

従って、自然科学・技術文明の歴史はたかだか数百年しかなく、学校の段階で例えれば、現代人類は“小学校低学年”のレベルなのです。それでも数百年で物質の究極と宇宙の構造をある程度まで説明できるようになったのは、たいしたものです。しかしまだ、物質と宇宙についても探求が始まったばかりであり、分かっていないことのほうが大部分です。それ以上に生命と精神と魂と霊について、あるいは多次元世界については、研究の端緒についたばかりと言っていいでしょう。

実はホモ・サピエンスは霊長類の中でも、非常に攻撃的で野蛮な方の種だと思います。それは人類は遠い昔から個人や部族、国家間の争い、戦争が絶えず、同種の中で殺し合いをしてきました。これだけ傷つけ合い、殺し合って、数え切れないくらい多くの人々が嘆き悲しんだにも関わらず、我々ホモ・サピエンスは何も学ばずに現在でも、むごい殺し合いをしています。近代の研究で分かってきたことなのですが、知能を発達させたヒト科ヒト族は、他に「ホモ・ネアンデルターレンシス」が数万年前までヨーロッパ、中東、中央アジアで生息していました。そして約2万7000年前に姿を消したのは、ホモ・サピエン



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

1000年後の未来から

瀬尾 泰範

タレントのタモリ氏が、自分のことをよく“妄想族”と表現しておりましたが、その言葉をお借りすると、私も“妄想族”の1人です。その“妄想”もどちらかという、サイに関わる人が多いのですが、例えば「自分が守護霊の立場になったとき、1人の人間にずっと付き添って、四六時中その人を見守っているのか? (もし守護霊が人間と同じような個霊であるならば自由を拘束(?) されているので、それも大変なことではないか?)、本人に何かを伝えたいときはどういう方法を取るのか?」、「自分が地球人より1万年程進化した他の惑星の高等生物として、宇宙船で地球に来たとき、どういう行動を取るだろうか? もし科学者ならば、どういう研究をしたいだろうか?」、「自分が宇宙創造神であるならば、どういう宇宙を創りたいだろうか?」そもそも何のために宇宙を創りたいのだろうか?」そして、「今の地球が1000年後にはどうなっているのだろうか? 我々人類は存在しているのだろうか? 1000年後の未来から現代の人類を顧みたととき、どういうふうに見えるのだろうか?」等々、なかなか現実離れした、現時点の人類の知識レベルではとうてい結論が出せないテーマなのですが、そういう観点から今の地球人類や自分の問題についても冷静に考えると、いろいろ示唆されることが多いのです。

今回は上記の最後のテーマに関して考察して

みたいのですが、その前になぜその事を考えてみたいのか、自分とサイとの関連も含めて、少し自己紹介をさせていただきます。人間のタイプを大きく2つに分けると、「PKタイプ(発信型人間)」と「ESPタイプ(受信型人間)」になると思いますが、私はどちらかという「ESPタイプ」です。中学生の頃から、テレパシーと思われる体験を度々したり、地震が起こる1、2日前に「何か地震が起こりそうだな。」という予感を感じたことが数回ありました。今でも、しばらくご無沙汰していた人のことが頭に浮かぶと、その日に本人から電話がかかってくることはよくあります。

そのような体験から大人になるまでずっと、人間にとってテレパシーは誰にも起こることであり、PK現象も霊的存在である人間がもっている創造力として、当たり前の能力だと思っていましたので、これらの研究が今後重要になると信じておりました。従って1976年に日本サイ科学会が創立されたときにすぐに入会すると、当時は私のような20代の若い会員が沢山いて、本部例会や年次大会など大いに盛り上がったのを覚えております。

私は日本サイ科学会に入会する数年前から、西洋占星学にも興味をもち、人間のパーソナリティ診断や運勢の波の診断に大いに参考になることが分かっておりましたが、その中で知った、キリスト出現以降の「魚座の時代」、そしてこれ